

■第5回新居浜市長期総合計画審議会議事概要

業 務 名	新居浜市長期総合計画策定業務	
会 議 名	第5回新居浜市長期総合計画審議会	
日 時	平成22年10月21日(木) 14:00~15:00	
場 所	消防4階コミュニティ防災センター	
参 加 者	委員(21名)	
事務局	総合政策課(6名)、専門部会(8名)、コンサルタント(2名)	
議 事 内 容	<p>1 連絡事項、資料の確認</p> <p>2 第4回審議会以降の変更について 基本構想 ・目標値(H32年度)の設定について 基本計画 ・実施計画等による変更(主な点) ・重点基本計画の設定</p> <p>3 パブリックコメントの結果について</p> <p>4 審議会の答申(案)について</p> <p>5 その他</p>	
質 疑 等	委員	資料4ページの下の「1-3 JR新居浜駅周辺の整備」について、「南北連絡通路」は非常に分かりやすいが、なぜ「南北自由通路」に変更したのか。分かりにくくなっている。
	事務局	これは新居浜駅の老朽化している跨線橋について、駅周辺の区画整理とあわせてやり変える事業であり、第五次計画の中で取り組むことを予定している。「南北自由通路」に変更したのは、JR四国との協議を踏まえたこと、国の交付金のメニューに合う表現にしたためである。
	委員	内容は「連絡通路」なのか
	事務局	その通りである。
	委員	16ページ下から2番目の「4-3 児童福祉の充実」について、10年間で若水乳児園と若宮保育園の2つの園にしか組み込まないような表現になっている。
	事務局	実施計画は10年間の歳入と歳出を踏まえて検討している。若水乳児園と若宮保育園については、10年間で間違いなくやれるという見通しがあるということで具体的に表現をさせていただいている。他のところも順次やっていきたいと考えているが、財政計画を踏まえて検討していくことになる。
	委員	この表現をみると2つしかやらないという表現に思える。
	委員	17ページの「4-4 障がい者福祉の充実」について、変更前は施設の整備になっていたが、変更後は「心身障害者福祉センター大規模改築」になっている。前回まではセンターを1

	つにして新しい場所に建設するという話だったと思うが、なぜ変更になったのか。
事務局	先ほど説明した内容と重なるが、今の利用目的を精査したうえで、長期総合計画では「心身障害者福祉センターの大規模改修」をしていくことを示している。どのような方法でやるかについては、これからいろいろな方と協議しながら進めていきたいと思っている。
委員	「心身障害者福祉センター」は、これまでの台風でも、浸水するなど大きな被害を受けている。あの状態であの場所で改修しても床を全部あげることになるので、その点についても検討しながら進めてほしい。
事務局	前回の災害の原因は、尻無川に木が詰まって大きな被害があった。その点は災害の後に改修しており、前回のような被害がないように改善している。
委員	4ページの最下段の「1-3 JR新居浜駅周辺の整備」について、10年計画においては駅舎の改築も必要になってくるのではないか。23ページの「1-3 JR新居浜駅周辺の整備」についても重点基本計画も合わせて検討していただきたい。 26ページの「4-2 地域福祉の充実」について、「地域福祉活動の推進」のなかで、社会福祉協議会や民生児童委員についての記述があるが、今の状況をみると団体に対する市の補助が年々薄くなってきている。単に事業だけをみるのではなく、地域福祉に関わる団体の育成という観点も必要になってくるのではないかと思う。団体の育成についても取り組んでいただきたい。関係福祉団体についても育成・強化を図るといふ表現にしていきたい。
事務局	駅舎の改修について、新居浜駅についてはJR四国が所有しているが、区画整理を進めていく中で、今、外壁の改修に取り組んでいる。その他のバリアフリー化、トイレの整備などに取り組んでいくと聞いている。今年度の取組みなので、第四次長期総合計画の中で取り組んでいるところである。 団体育成については、今回の調査の中でいろいろの団体にヒアリングし、団体を維持していくのが大変になっているということも聞いている。これからのまちづくりについては、協働に取り組む中で、行政だけでなく市民の方の協力も必要であると考えている。「産業・環境共生都市」を実現するためには、行政は皆様と一緒に取り組んでいかないと「笑顔輝くま

		ち」ができないため、今後も協力して進めていきたい。
	委員	説明としては分かるが、できれば表記を検討していただきたい。
	事務局	本日の資料 26 ページの重点基本計画については、どのような理由で重点に選んだかということを書いている。 このことは基本計画本文の中で、「地域福祉の充実」の取組方針「問題解決を図っていく体制を強化していく」という方針にしているのでご理解いただきたい。
議事内容	3	パブリックコメントの結果について
質疑等		なし
議事内容	4	審議会の答申(案)について
質疑等		なし
議事内容	5	その他
質疑等	委員	方針そのものはこれでよいと思うが、新居浜らしさについて、10年間でやることについて、計画の焦点がどこにあるのかが分かりにくい。1つのポイントは「駅周辺の開発」、2つ目は将来像に「あかがねのまち」とあるように「文化遺産の活用」という点が他の市と違う点である。もう1つ抜けているのは、工業都市としての新居浜らしさというものが全く出ていないと思う。新居浜市の今後10年のテーマはこの3つと思う。工都新居浜をどうするのかという点について、新居浜高専などの高等教育機関もあるので、教育についても理科教育をどうするのか、人材をどう育成するのかなど、現代における教育についても施策として強調してほしい。
	事務局	計画の焦点ということで、全て都市像に関連することだと思う。新居浜市は別子銅山から発展し、いろいろな産業が生まれ、そこで人の技術やコミュニティが生まれてきている。それを今後も活かしていこうと考えている。これからの10年間を考えた時に、人口減少と高齢化の問題、地域主権・地方分権の流れ、もう1つはご指摘あったように産業の面が非常に重要になってくると思っている。その中で大きな方向性としては、これからは環境と共生していかないとはいえないと考えている。これらのことを背景に将来都市像を掲げている。 その中で工都らしさということで、高等教育機関との連携については、高専との連携協定によって進めているところである。また愛媛大学とも連携協定を締結させていただいている。今後、さらに高専や愛媛大学と行政が連携して取り組み、工

	<p>都としての人材育成についても重要になってくると考えている。</p> <p>長期総合計画においては、計画項目全体に取り組むとともに、その中で各分野の選択と集中により、効果的に実施していくことが必要と考えている。</p>
副会長	<p>私たち市民にとっても、今後 10 年間で新居浜らしさが表面に表われる長期計画案であってほしいという願いなので、そのような表現をお願いしたい。</p>
委員	<p>新居浜市は工業で発展してきたが、住友だけでなく、自分たちで起業するとか、人材を確保することが、今後も工業が発展するためには重要であって新居浜市の工業の発展の源ではないかと思う。</p> <p>残念ながら、その点は西条市の勢いに比べたら劣っていると思う。今後 10 年間は、その点に力を入れ、新居浜らしさを出すことが必要である。</p>